

・元号と西暦
明治元年（＝西暦 1867 年）～ 45 年（＝大正元年）
大正元年（＝西暦 1912 年）～ 15 年（＝昭和元年）
昭和元年（＝西暦 1926 年）～ 64 年（＝平成元年）
平成元年（＝西暦 1989 年）～（現在）

【1】次の年号は西暦に、西暦は元号を用いて表しましょう。

平成 2 年→1990 年	1890 年→明治 23 年
昭和 52 年→1977 年	1920 年→大正 9 年
大正 12 年→1923 年	1950 年→昭和 25 年
明治 32 年→1898 年	2000 年→平成 1 2 年

・月日数と閏年

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
平年	31	28	31	30	31	30	31	30	31	31	30	31	365
閏年	31	29	31	30	31	30	31	30	31	31	30	31	366

・閏年について（グレゴリオ暦）

西暦が 4 の倍数の年（1992 年、2016 年など）を閏年とします。ただし、西暦が 100 の倍数の年（1800 年、1900 年など）は平年とし、さらに西暦が 400 の倍数の年（2000 年、2400 年など）は閏年とします。

【2】次の問いを考えましょう。

- (1) 今日の日付とあなたの生年月日を記入しましょう。
今日は、平成（ 14 ）年＝西暦（2002）年（ 2 ）月（ 14 ）日
生年月日は、昭和（ 30 ）年＝西暦（1955）年（ 10 ）月（ 19 ）日
- (2) あなたの誕生日から今日まで、何日あるか計算してみましょう。

1955.10.19～2001.10.18 まで、閏年 12 回あるから、
365×(2001 - 1955)+12=16,802 日
2001.10.19～2002.2.14 まで

月	10	11	12	1	2	合計
日数	13	30	31	31	14	119 日

+ より、16,802+119=16,921（日）

・閏年と曜日
平年の 1 年間の日数は 365 日で、365÷7 の余りは（ 1 ）ですね。ですから、
曜日は翌年 1 ずれることになります。

【3】次の空欄を埋めましょう。

- (1) 閏年の前年でない平年○月×日（月曜日）→
その翌年の同月同日（ 火 ）曜日
- (2) 閏年の 1 月×日（月曜日）→その翌年の 1 月同日（ 水 ）曜日
- (3) 閏年の 8 月×日（月曜日）→その翌年の 8 月同日（ 火 ）曜日
- (4) 閏年の前年 1 月×日（月曜日）→その翌年の 1 月同日（ 火 ）曜日
- (5) 閏年の前年 8 月×日（月曜日）→その翌年の 8 月同日（ 水 ）曜日

・曜日数

曜日は 7 を周期として繰り返すので、普通の名前のかわりに、各曜日に次のように数を割り当てます。

日＝0、月＝1、火＝2、水＝3、木＝4、金＝5、土＝6
すると、任意の整数にある曜日が対応します。すなわち 7 で割った剰余で定められる曜日数です。

【4】次の問いを考えましょう。

- (1) 2002 年 1 月 9 日が水曜日であることを知って、1919 年 1 月 9 日が何曜日が求めてみましょう。
（解）2002.1.9 の曜日数を d₂₀₀₂、1919.1.9 の曜日数を d₁₉₁₉ とおく。
1920＝4・480、2000＝4・500 より、閏年は 500－480＋1＝21 回
d₂₀₀₂＝d₁₉₁₉＋(2002－1919)＋21
＝d₁₉₁₉＋83＋21≡d₁₉₁₉＋6 (mod7)
d₂₀₀₂＝3≡10 より、10＝d₁₉₁₉＋6
d₁₉₁₉＝4 木曜日・・・（答）
- (2) あなたの生年月日が何曜日が求めてみましょう。【1955.10.19 として】
（解）2002.10.19 は土曜日であることが分かっているとすると、(1)と同様に、
d₂₀₀₂＝d₁₉₅₅＋(2002－1955)＋12 …閏年 12 回ある
＝d₁₉₅₅＋47＋12≡d₁₉₅₅＋3 (mod7)
d₂₀₀₂＝6 より、6＝d₁₉₅₅＋3
d₁₉₅₅＝3 水曜日・・・（答）